



# 平成28年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社IGポート  
 コード番号 3791 URL <http://www.igport.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理担当執行役員  
 四半期報告書提出予定日 平成27年10月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 石川光久  
 (氏名) 中野広之

TEL 0422-53-0257

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年5月期第1四半期の連結業績(平成27年6月1日～平成27年8月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第1四半期	1,776	11.2	△6	—	△17	—	△41	—
27年5月期第1四半期	1,598	△10.6	28	178.4	49	—	△17	—

(注) 包括利益 28年5月期第1四半期 △27百万円 (—%) 27年5月期第1四半期 △18百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第1四半期	△8.82	—
27年5月期第1四半期	△3.79	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年5月期第1四半期	7,201	4,294	59.6
27年5月期	7,541	4,331	57.4

(参考) 自己資本 28年5月期第1四半期 4,294百万円 27年5月期 4,331百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年5月期	—	0.00	—	2.00	2.00
28年5月期	—	—	—	—	—
28年5月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年5月期の連結業績予想(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,842	△21.9	257	△4.0	317	2.7	180	—	38.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年5月期1Q	5,055,400 株	27年5月期	5,055,400 株
② 期末自己株式数	28年5月期1Q	320,400 株	27年5月期	320,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年5月期1Q	4,735,000 株	27年5月期1Q	4,681,508 株

(注)自己株式数には、J-ESOP信託口が所有する当社株式が含まれております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策等を背景に、企業収益の向上・雇用情勢の改善など緩やかな回復傾向にありますが、中国経済の減速により、先行き不透明な状況となってまいりました。

このような事業環境のもと、当社グループはアニメーション作品の企画・制作を行う映像制作事業、コミック雑誌等の企画、製造、販売を行う出版事業、作品の二次利用による印税・収益分配金等を得る著作権事業に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,776,830千円（前年同期比11.2%増）、経常損失は17,615千円（前年同期は49,612千円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は41,739千円（前年同期は17,720千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ① 映像制作事業

映像制作事業におきましては、劇場用アニメーション「攻殻機動隊 新劇場版」「屍者の帝国」「進撃の巨人 総集編 後編」「ハイキュー!! 総集編 前編・後編」、テレビ用アニメーション「フューチャーカード パディファイト100」「To LOVEる -とらぶる- ダークネス 2nd」「ピカイア!」等、その他ゲーム用・CM用のアニメーションを制作いたしました。

以上により、当事業の売上高は1,273,964千円（前年同期比8.7%増）、一部の作品に制作期間が長期化したことにより、セグメント損失は26,327千円（前年同期は6,173千円のセグメント損失）となりました。

## ② 出版事業

出版事業におきましては、月刊誌「コミックガーデン」、コミックス「あめつちだれかれそこかしこ」「椎名くんの鳥獣百科」の新刊、書籍「宇宙戦艦ヤマト2199 艦艇精密機械画集」等、定期月刊誌3点、並びに新刊コミックス・書籍25点を刊行しました。

また、既刊の「魔法使いの嫁」「曇天に笑う」シリーズは、特に販売好調でありました。

以上により、当事業の売上高は156,628千円（前年同期比14.4%減）、セグメント損失は30,626千円（前年同期は47,002千円のセグメント損失）となりました。

## ③ 著作権事業

著作権事業におきましては、「宇宙戦艦ヤマト2199 シリーズ」「サイコパス シリーズ」「009 RE:CYBORG」「進撃の巨人」「ハイキュー!! シリーズ」等の二次利用による収益分配を計上しました。

以上により、当事業の売上高は265,017千円（前年同期比46.3%増）、映像マスターの償却費が増加したことにより、セグメント利益は56,778千円（前年同期比44.4%減）となりました。

## ④ その他

その他の事業につきましては、雑誌のイラストやキャラクターの商品化、ゲームや iPhone/iPod Touch 向けアプリ等により当事業の売上高は81,219千円（前年同期比30.0%増）となり、セグメント利益は10,837千円（前年同期は992千円のセグメント損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ340,591千円減少し7,201,150千円となりました。主な要因は商品及び製品が53,934千円増加し、一方、受取手形及び売掛金が107,030千円、映像マスターが94,908千円、仕掛品が95,069千円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ302,917千円減少し2,906,935千円となりました。主な要因は未払金が13,380千円増加し、一方、買掛金が132,748千円、未払法人税等が39,314千円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ37,673千円減少し4,294,215千円となりました。主な要因は為替換算調整勘定が13,935千円増加し、一方、配当金の支払い及び四半期純損失の計上により利益剰余金が51,609千円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月期の業績予想につきましては、平成27年7月10日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

① 連結の範囲の重要な変更  
該当事項はありません。

② 持分法適用の範囲の重要な変更  
該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,572,481	2,534,028
受取手形及び売掛金	1,164,316	1,057,286
商品及び製品	97,710	151,645
仕掛品	1,020,903	925,834
貯蔵品	8,044	8,673
前渡金	62,853	48,026
繰延税金資産	41,738	36,284
その他	124,800	117,713
貸倒引当金	△46,640	△26,140
流動資産合計	5,046,209	4,853,352
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	679,322	668,059
土地	829,579	829,579
映像マスター(純額)	455,071	360,162
その他(純額)	69,911	64,109
有形固定資産合計	2,033,885	1,921,910
<b>無形固定資産</b>		
のれん	43,270	38,943
その他	9,253	10,007
無形固定資産合計	52,523	48,950
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	111,996	111,996
その他	329,616	298,669
貸倒引当金	△32,488	△33,728
投資その他の資産合計	409,124	376,937
固定資産合計	2,495,532	2,347,798
資産合計	7,541,742	7,201,150

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	768,672	635,924
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	39,996	39,996
未払金	350,984	364,365
未払法人税等	60,484	21,169
前受金	950,702	939,248
賞与引当金	16,923	28,642
役員賞与引当金	—	1,037
返品調整引当金	62,363	49,263
受注損失引当金	59,732	24,988
その他	341,295	257,901
流動負債合計	2,751,154	2,462,537
固定負債		
長期借入金	339,192	329,193
株式給付引当金	34,800	34,452
退職給付に係る負債	36,144	37,387
その他	48,562	43,366
固定負債合計	458,698	444,398
負債合計	3,209,853	2,906,935
純資産の部		
株主資本		
資本金	781,500	781,500
資本剰余金	1,922,669	1,922,669
利益剰余金	2,059,573	2,007,963
自己株式	△420,870	△420,870
株主資本合計	4,342,872	4,291,262
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△10,983	2,952
その他の包括利益累計額合計	△10,983	2,952
非支配株主持分	—	—
純資産合計	4,331,888	4,294,215
負債純資産合計	7,541,742	7,201,150

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年8月31日)
売上高	1,598,365	1,776,830
売上原価	1,392,383	1,601,850
売上総利益	205,982	174,980
返品調整引当金戻入額	11,200	13,100
差引売上総利益	217,182	188,080
販売費及び一般管理費	188,601	194,437
営業利益又は営業損失(△)	28,581	△6,357
営業外収益		
受取利息	245	232
為替差益	7,848	—
デリバティブ評価益	4,730	—
受取賃貸料	12,720	11,582
その他	5,580	1,925
営業外収益合計	31,124	13,740
営業外費用		
支払利息	1,106	1,019
為替差損	—	15,517
賃貸収入原価	8,095	8,255
その他	891	205
営業外費用合計	10,093	24,998
経常利益又は経常損失(△)	49,612	△17,615
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	49,612	△17,615
法人税、住民税及び事業税	42,994	22,615
法人税等調整額	31,371	1,508
法人税等合計	74,365	24,124
四半期純損失(△)	△24,752	△41,739
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,031	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△17,720	△41,739

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年8月31日)
四半期純損失(△)	△24,752	△41,739
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	5,840	13,935
その他の包括利益合計	5,840	13,935
四半期包括利益	△18,912	△27,803
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△11,880	△27,803
非支配株主に係る四半期包括利益	△7,031	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年6月1日 至 平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作 事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,171,867	182,894	181,118	1,535,880	62,485	1,598,365
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,171,867	182,894	181,118	1,535,880	62,485	1,598,365
セグメント利益又は損失 (△)	△6,173	△47,002	102,135	48,959	△992	47,967

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	48,959
「その他」の区分の利益	△992
のれんの償却額	△4,327
全社費用(注)	△15,059
四半期連結損益計算書の営業利益	28,581

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成27年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作 事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,273,964	156,628	265,017	1,695,610	81,219	1,776,830
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,273,964	156,628	265,017	1,695,610	81,219	1,776,830
セグメント利益又は損失(△)	△26,327	△30,626	56,778	△174	10,837	10,662

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△174
「その他」の区分の利益	10,837
のれんの償却額	△4,327
全社費用(注)	△12,692
四半期連結損益計算書の営業損失	△6,357

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。